

SDGs達成に向けた行動ビジョン

〈新潟ろうきん〉は、全国労働金庫協会が制定した「SDGs行動指針」に沿い、「新潟ろうきんSDGs達成に向けた行動ビジョン」を策定しました。協同組織金融機関としての役割を最大限に発揮し、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けたさまざまな活動に取り組みます。

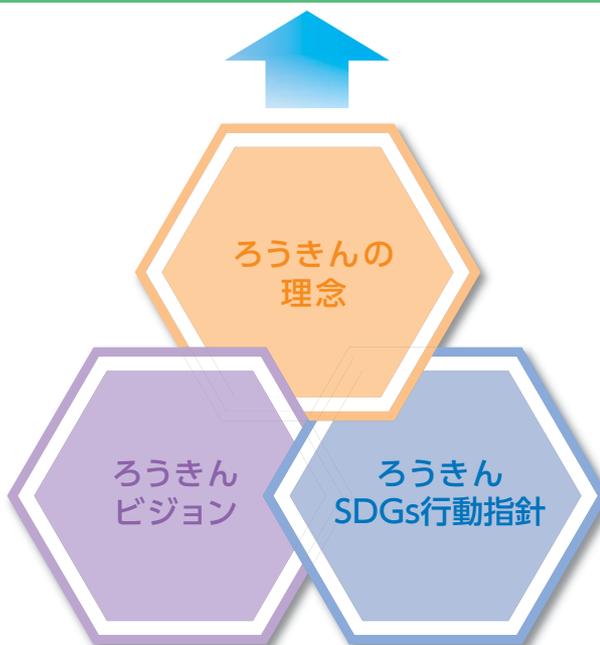


新潟ろうきん 「SDGs達成に向けた行動ビジョン」

1. 〈新潟ろうきん〉は、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、人と組織と地域をつなげる架け橋となります。
2. 〈新潟ろうきん〉は、相互扶助の思いの詰まったグッドマナーを循環させ、弱者に寄り添い、手を差し伸べることにより、働く人とその家族の笑顔の輪を広げていきます。
3. 私たち〈新潟ろうきん〉の役職員は、社会の課題と正面から向き合い、共感と協働の力を持って未来に挑戦していきます。

ろうきんビジョン (2015～2025年)

1. 勤労者の生活を生涯にわたってサポートします。
2. 非営利・協同セクターの金融的中核として、その役割を発揮します。
3. 人と人、人と地域をつなぐことを通じて、共生社会の実現に貢献します。



ろうきんSDGs行動指針 2019年3月～

- 〈ろうきん〉は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取り組んでいます。〈ろうきん〉は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取り組むことを通じて、SDGsの達成をめざします。
- 〈ろうきん〉は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。
- 〈ろうきん〉は、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団などの非営利・協同セクター、自治体などのネットワークを強化し、連携して地域における福祉・教育・環境・自然災害などの社会的課題の解決に取り組んでいきます。

SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」など17のゴールと、そのゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）で構成されています。世界的にその重要性が認識され、日本でもその積極的な推進が期待されています。

